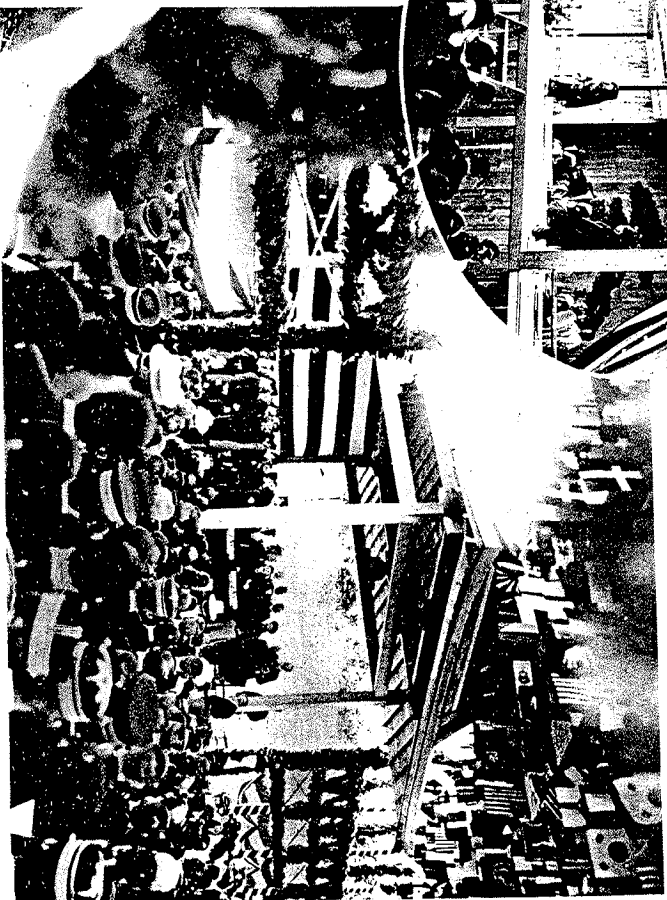
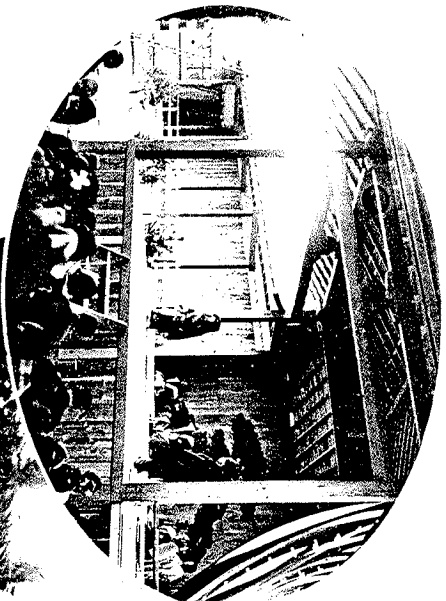


て六十七哩なる慶山に延長したるため従來群山より錦江を溯り芙江に輸送したる工事材料は七月以後に於ては主として建築列車に依ることを得るに至つた。而して會社は沿線民衆をして一日も速に近世文明的交通機關の利便に浴せしめむとの趣旨により、材料輸送の傍ら成るべく旅客貨物の便乗便載を許し、北部に在りては三十七年七月十五日より永登浦振威間に同十月十一日より芙江に其の區域を延長し、南部に在りては草梁龜浦間に於て三十六年一月二十一日より貨物の便載を、同十月八日より旅客の便乗取扱ひを開始したるが、翌年一月に至りて其の區域を密陽に延長し、同年十二月二十七日草梁永登浦間を通じて之れが取扱ひを爲し、越えて三十八年一月一日を以て全線開業するに至つた。

### 第五節 京釜鐵道開通式

速成工事完成を告げ草梁永登浦間の線路は豫期の如く開通し、明治三十八年一月一日より草梁永登浦間の運輸營業を始め京城釜山間の聯絡を全うしたるを以て、五月二十五日時恰も日露戰役中掉尾の活躍に世界を驚歎せしめたる日本海海戰に先つと二日京城南大門停車場構内廣場 現在の古市町鐵道局長官舎附近丘陵上 に於て盛大なる開通式を舉行し大浦遞信大臣を初め長谷川陸軍大將、林駐韓公使、韓國各部大臣其他の大官貴衆兩院議員、英

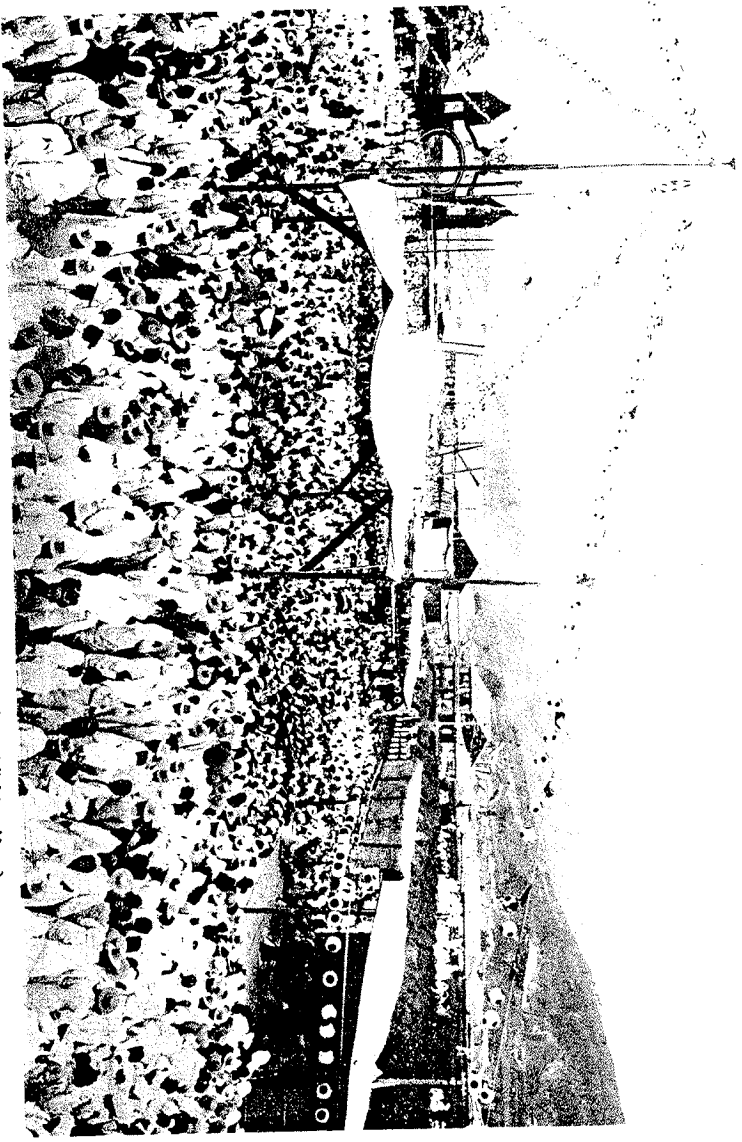


(正面柱の左側伏見崇宮殿下)

回上餘興  
(古市總裁の能樂演舞)

京釜鐵道開通式(南大門驛構内に於て)

—明治三十八年五月二十五日—



京釜鐵道開通祝賀會 (草梁に於て)  
—明治三十八年五月—

古市總裁の奉答、大浦遞信大臣、朴農商工部大臣、貴族院議員正親町伯爵、衆議院議員江原素六及び日米兩國公使の演説、古市總裁の挨拶等ありて式を閉ぢ次いで饗宴に移り能樂、角力、神樂、手品、官妓舞踊等各種の餘興を演じ歡を盡して散じたるが、是等の準備萬端善美を極め京城に於て眞に未曾有の盛況を呈した。

古市總裁の奉答、大浦遞信大臣、朴農商工部大臣、貴族院議員正親町伯爵、衆議院議員江原素六及び日米兩國公使の演説、古市總裁の挨拶等ありて式を閉ぢ次いで饗宴に移り能樂、角力、神樂、手品、官妓舞踊等各種の餘興を演じ歡を盡して散じたるが、是等の準備萬端善美を極め京城に於て眞に未曾有の盛況を呈した。

古市總裁式辭

明治三十八年五月二十五日

恭しく

博恭王殿下

李載覺殿下の御臨場を仰ぎ各國公使及び朝野の縉紳諸君を招待して京釜鐵道の開通式を擧ぐ抑々本鐵道は明治三十四年八月工を起し拮据經營夜

を以て是れ日に繼ぎ衆役を督促して山を鑿ち江を逾へ客年十一月始めて線路敷設の工を竣へ本年一月營業を開始せり是れ偏へに日韓兩國政府の特殊なる保護と朝野有志の熱誠なる贊助とに基因するものなり若し夫れ本鐵道の沿革線路の形勢工事の狀況等は別に冊を具して之れを陳す希くは瀏覽を賜ひ其梗概を諒知せられんことを不肖公威本社總裁の任に膺り以て職員と共に倍勉勵運輸交通の便益を謀り殖産興業の繁盛を資け以て兩國政府の恩典と有志諸君の希望とに酬んことを期す

博恭王殿下令旨

京釜鐵道は我國と韓國との交通上最良の連鎖にして國交經濟の弛張之れに繫るもの尠からず今や軍國多事の秋に當り本鐵道敷設の功成り茲に開通の式を舉ぐ洵と兩國の慶幸と謂ふ可し博恭深く當事諸員拮据經營の勞を嘉し併て爾後益々勵精以て此至要なる交通機關の運用を完うせんことを望む

義陽君殿下令旨

京釜鐵道敷設工事今や竣を告げて茲に開通の盛典を舉行す顧みるに該鐵路は利用厚生の道に鴻益を有すること論を俟たず日韓兩國の交誼は是れに由て益々親睦を加ふる事期して疑ひなし尙完美の境に達せんことを望む

古市總裁奉答

京釜鐵道開通式に際し

博恭王殿下

李載覺殿下より優渥なる令旨を賜ふ公威等感激の至りに堪へず自今倍奮勵兩國に於ける福利の増進を實けんことを期す謹で奉答す

米國公使祝辭

(要旨)

兩殿下 竝に諸君

京釜鐵道は今や開通しました、私は先日此鐵道で釜山へ行きましたから殊更に此盛大なる開通式に列しなくとも開通の事實は既に善く知つて居るのであります、此時は往復に單に二日しか要しませんでした但其以前には片道に十三日も費した事を思へば變化の甚だしいのに驚く外ありません、且々たる線路を走る列車内に座して沿道古城趾や巖石の間を行き又は禿嶺たる山を貫く隧道を過る時には、若し白い衣服を着た韓人が居なければ身が韓國を旅行して居る事が分らない位です、韓國には種々の階級や黨派がありますが鐵道は平等者ですから常民も兩班も、尊きも卑しきも皆一様に鐵道の時間を守り、機關車の通行する時は之れを避けなければなりません、又鐵道は規律正しい時間に依りて運行するのですから、自ら民衆に時間を嚴守すべき事を教へるので、此點に於て鐵道は韓人に對する文明的指教者と云はなければなりません

當初此國に鐵道敷設の議があつた時に一部の人々の豫想を裏切り、韓人は鐵道が開通すると直ぐに其の買客となつて初めの豫想よりは遙かに能く鐵道を利用して居ます、韓人が鐵道利用の途を知つて居る事實は京仁間の舊道に就て見れば能く分ります鐵道敷設前には歩行するか車に乗るか或は韓馬に跨り三日間の日子を要しました、其三日とは即ち二日だけ往復に一日は仁川で用辨のために費さなければならなかつたのです、然るに今は嘗て吾々の通路であつた所は雜草が生ひ茂つて居るに反し、汽

車には乗客が充満して居ます、當初往來の困難なるのを知つて居る吾々が、心地よい車室内から此の荒れ果た道路並に附近の田野の様を見ては、その愉快は果して如何でありませうか

今日は韓國にとつては實に記憶すべき日であります、今韓國は桃源洞裡に徒らに醉生夢死すべき時でありませんが、明日在りとの時代は最早や過ぎ去りました、今の事は今之れを仕なければなりません、如何なる場合にも鐵道は古い面目を改むるものです、此のためには破壊をも辭する事は出来ません、斯様にして面目は初めて改むる事を得るものです

私は既に廿一年間此の愉快な地に住んで居りまして、今此の文明的機關を見る事の出来るのは甚だ満足に堪へません、私は此鐵道の爲めに此の私の第二の故郷が、將來如何に進歩するかを見るまで此の地に留る事を希ひます、而して他日私は巴里の汽車中に於て徐ろに車掌に向つて、「南大門に降してくるやう」に命ずる時の來るのを切望致します、今や世界鐵道交通の上に変化を來しまして、釜山から鐵路によりて本國に向つて出發し、私の本國と遠く隔つて居る朝鮮は、最早や世界の桃源國ではなく、却つて私が最初南大門に來て想像した時よりも、遙かに愉快な而も遙かに迅速に世界を一周する公道の重要な連鎖の一つであることを、事實の上で現はす時期の到來するのを期して待つ次第であります(中略)

終りに鐵道技術部員諸君、私は諸君の事業の迅速にして完美なるは、確に鐵道工事上の一大功名と云はなければなりません諸君私は諸君の成功を祝し、今日此盛大なる祝日は實に諸君の力に負ふものであると信じます

#### 大浦遞信大臣祝辭

京釜鐵道敷設の功を竣へ本日をして以て開通の式を擧ぐるに至りたるは我國と韓國との交通上海に慶賀に堪へざる所なり顧ふに本鐵道經始以來殆んき拾年内外の情勢は久しく力を此に専らにするを容さず然るに前年來時局漸く艱み本鐵道の必要益々逼るに及び我政府は特に之を扶助し韓廷亦諸般の便宜を與へ當局諸員は夙夜黽勉事に從ひ遂に能く寿年にして其目

的を達するここを得たり今より以往兩國の鐵道一帯帶水を隔て、相連絡し國都相距る僅々數日程を出でず其一旦緩急の用に應ずるを得るに論なく此に由りて國際の情誼を親密にし産業の開發を促進し政治上經濟上一新の時を期すべきに至れり蓋し其効果の及ぶ所極めて大なるものあるべし望らくは當局諸員本鐵道敷設の精神を體し誠實職を守り叮嚀客に接し之を運用するに於て遺算なきを期せんことを茲に此盛儀に臨み深く諸員の勞を多し併せて將來の希望を述べ

#### 朴農商工部大臣祝辭

今日京釜鐵道開通式を舉行せらるるに當り韓日兩國官民を初め友邦官民多數會集せられましたるが、斯くの如き盛事は未だ曾つて見ざる事であり、況んや大日本伏見若宮博恭王殿下並に我が國義陽君殿下に於かせられても親しく式場に駕臨在らせられましたるは、本大臣の臨場諸君と共に一層光榮欣幸とする處であります、今や京釜鐵道全通し之れが爲めに三南地方の活躍文明の輸入見るべきものあるべく國歩大に振ふに至るべきや論を俟たず、是れ本大臣の深く祝賀に堪へざる所以である、而して本鐵道の敷設は我が帝國の同盟國たる大日本帝國臣民古市總裁以下技術員諸氏の獻身的盡瘁の賜に外ならぬ、本大臣は茲に古市總裁以下諸氏の功惠に對し深厚なる感謝の意を表せむとするものであります。

抑々明治二十七年暫定合同條款の締結せられてより正に十有一年、其の間幾多の變

遷曲折を經政府の保護と民間有志家の獻身的盡力と當事者の苦心經營と相俟つて、本鐵道の建設は茲に一段落を告ぐるに至つた。此に於て日韓兩國交通の連鎖成り當初の目的に向つて一步を進め、兩國の交誼是れに由りて益々親睦を加ふることは争ふべからざる事實である。斯くの如くにして京釜鐵道の落成は、單り半島鐵道史に特筆大書すべき事實なるのみならず、また實に我が國力の發展に一新紀元を劃するものと謂ふべきである。

### 草梁に於ける開通祝賀會

是れと同時に釜山方面に在りては、京釜鐵道草梁事務所前の廣場に紅白の幔幕を引繞らし、萬國旗球燈等を張りわたし正面に大綠門を設つらへて、開通式に參列のため來遊する日本官民有力者を歡迎するに共に、同五月二十五日當地に於ける内外官民數百名相會して盛大なる京釜鐵道開通祝賀會を催した。

### 露國の朝鮮鐵道計畫

京釜鐵道開通式が盛大に舉行された當夜、京仁の新聞記者が發起人となり來韓の新聞記者と新聞關係代議士と聯合して拘翠樓に於て懇親會を催したが、會する者八九十名、席上自分(中井錦城)は發起人總代として開會の趣意を述べ、更に個人の意見としてかう云ふことを述べた。「露國の大藏大臣ウキツテ氏の意見書なるものを見るに、ハルビン・京城間直道の鐵道計畫がある、即ちハルビンより吉林に出で鴨綠江上流の帽兒山に到り、それより平安南道・黃海道・京畿道の中央を貫通して京城に達する鐵道であつて、若し日露戰爭が起らなかつたなら其の鐵道の計畫が實行され、此の頃は京城に於て起工式が舉行されたかも知れぬ、さすれば吾々は爆裂彈でも投げ付けて鬱憤を晴さなくてはなるまい、その時吾々の最愛なる妻子は定めて死生の境に迷ふことであつたらうが、今日は然らずして連戦連勝の餘威に依り日本の京釜鐵道開通式を見るに至り、吾々の家族も其の式場に列するを得愉快名狀すべからずである。思へば日露戰爭は朝鮮を露國の手から救うたものである」と述べ、我知らず慷慨淋漓たる演説を試みたのであつた。

(中井錦城氏著朝鮮回顧録)

## 第六節 全通後の工事概要

是れより先會社は前年末、全線の開通と共に草梁の臨時建設部を廢して其の事務を營業部の管掌に移し、假工事の箇所は引續き同部の手に依りて本工事を施行せしむることをなしたるが、三十八年三月より殘區間たる京城永登浦間五哩五の複線敷設及び釜山草梁間の建設工事に着手した。然るに偶々雨季に際して數年來稀有の暴風雨あり京城方面に在りては六月下旬より、また釜山方面に在りては七月上旬より何れも九月上旬に亙りて沿線の河川悉く氾濫し之れがため著るしく工事の進行を阻碍せられたるのみならず、既成の線路、橋梁、其他の工作物に多大の損害を被りたるも、興業費支辨の工事は大略年内に完成を告げ、更に三十九年に入りては釜山草梁間の工事に力を注ぎ、龜卜隧道の仰拱新設、其他諸建築物工事を施行し、また既成線路は經費の許す限り嵩置腹附を爲し下水を浚渫し、枕木及び砂利の補充を行ひ道床の固定に努めたる結果線路の状態大に良好となつた。

本線全通後鐵道國有期までに會社の施行せる工事の概要は左の如くである。

臨時建設部  
廢止  
京城永登浦  
間及草梁釜  
山間の線路  
建設

本線全通後  
鐵道國有期  
までの工事  
概要